

令和 7 年度

登録左官基幹技能者認定試験問題 (60分)

東北ブロック

受講番号		氏名	
------	--	----	--

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題 (四肢択一法)

3. 注意事項

- (1) 試験開始の合図があるまで、この問題冊子はあけないでください。
- (2) 受講番号と氏名は、問題用紙および解答用紙のそれぞれの所定の欄に必ず記入してください。
- (3) 本冊子は、表紙を含めて 10 頁です。次に、問題数を確かめてください。落丁、乱丁、印刷不鮮明の箇所などがあつた場合には、黙って手を上げて申し出てください。
- (4) 試験開始の合図で始めてください。
- (5) 解答の方法は、次のとおりです。
 - ①正解と思うものを、1～4の番号の中から 1つだけ選んで、解答用紙の解答欄にその番号を、黒の鉛筆またはシャープペンシルで記入してください。
 - ②解答を訂正する場合は、訂正する解答を、プラスチック消しゴムできれいに消した後、新しい解答を記入してください。
消し方が不十分な場合は、2つ以上解答したこととなり正解としません。
 - ③受験番号および選択した番号を正しく記入していないものは、採点せず全問題を 0 点とすることがあります。
- (6) 電子式卓上計算機、携帯電話の計算機能その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (7) 試験中、質問があるときは黙って手を上げてください。ただし、試験問題の内容、漢字の読み方等に関する質問にはお答えできません。
- (8) 答案ができあがったら、監督者の指示に従って提出してください。ただし、試験開始 30 分以内の場合は、退出できないので、静かに着席しててください。

一般社団法人 日本左官業組合連合会

以下の問題をよく読み、解答用紙に正解番号を記入しなさい。

問題 1 登録基幹技能者に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 登録基幹技能者は、現場における高度なマネジメント業務を担う。
2. 登録基幹技能者は、現場における元請の計画に参画する。
3. 登録基幹技能者は、現場における元請の管理業務に参画する。
4. 登録基幹技能者は、現場における仲の良い他職種の技能者の補佐をする。

問題 2 登録基幹技能者の評価・活用に関して、**最も不適当**なものはどれか。

1. 優良技能者認定制度には、上級職長手当制度がある。
2. 優良技能者認定制度には、ベターリビング制度がある。
3. 優良技能者認定制度には、C社認定職長手当制度がある。
4. 優良技能者認定制度には、D社マイスター制度がある。

問題 3 登録基幹技能者の活用に関して**最も不適当**なものはどれか。

1. 登録基幹技能者は、公共工事における総合評価落札方式においても評価・活用されている。
2. 国土交通省における総合評価落札方式においては、すべての地方整備局等で評価・活用されている。
3. 都道府県等の地方自治体においては、令和2年度末現在で29都道府県・政令市で評価・活用されている。
4. 日本左官業組合連合会等の専門工事業団体における総合評価落札方式においても導入されている。

問題4 登録基幹技能者に求められる職務遂行上の能力区分のうち企画力・開発力・折衝力・調整力に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 職務に係る技術提案等を積極的に行い、全体の成果に結びつけることができる。
2. 施工計画の策定に参加し、計画に係る諸事項の決定及びその管理方法について、提案することができる。
3. 施工現場の直接窓口として、常に他業種とのコミュニケーションに心掛け、信頼関係の中で折衝、調整を行い、工事を円滑に推進することができる。
4. 近隣住民並びに他現場の技能者たちとのコミュニケーションに気を配り、常に相互信頼の中で話し合いの雰囲気づくりができる。

問題5 登録基幹技能者に必要な資質に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 統率力がある。
2. 人を率いるには、人間愛が必要である。
3. 厳しさと怒りがなくては人はついてこない。
4. 厳しさの中でも暖かい配慮こそが肝要である。

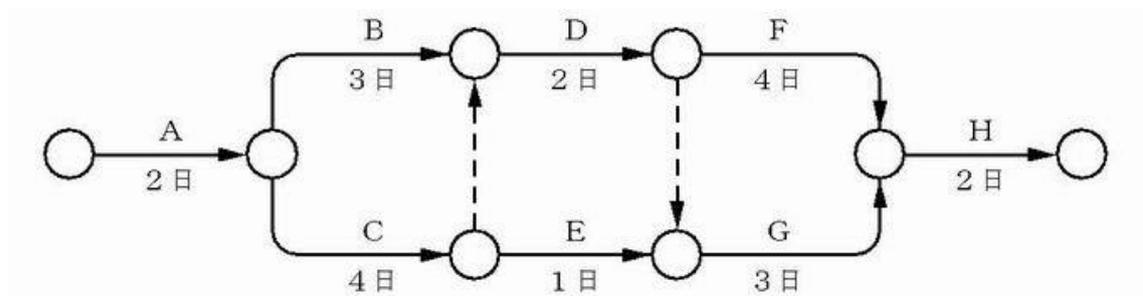
問題6 登録基幹技能者が担うべき指導・教育、自己啓発に関して、最も不適当なものはどれか。

1. OJT は、職場の上司が部下の育成のために、日常の作業を通して行う指導・教育である。
2. OFF-JT は、日常の仕事を離れて行われる集合研修・教育である。
3. OJT は、Out the Joke Training のことである。
4. Off-JT は、Off the Job Training のことである。

問題7 登録基幹技能者としての法令遵守に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 労働者派遣契約とは、自己が雇用する労働者との雇用関係を維持したまま、その労働者を他者の指揮・命令下において従事させることである。
2. 建設業務に対する労働者派遣は認められている。
3. 建設業において、実態としては「労働者派遣契約」であるケースがある。
4. 常に請負の要件に配慮し、労働者派遣の実態とならないようにすることが必要不可欠である。

問題8 次の工程表に関して、最も不適当なものはどれか。



1. この工程表のクリティカルパスは、A-C-D-F-Hである。
2. この工程表の工期は、14日である。
3. 作業Eのトータルフロート（余裕日数）は、2日である。
4. 作業Eの最早開始時刻（EST）は、6日である。

問題9 新しい技術に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 3次元座標を計測する測量機器にレーザーレベルがある。
2. 3次元座標を計測することのできるGNSS（GPS）がある。
3. 3次元形状をデジタルデータとして大量の画像から3次元形状を復元する写真測量がある。
4. レーザーにより3次元形状を点群データとして記録するレーザースキャナ等がある。

問題 1 0 施工管理の概要に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 施工計画は、工事施工にあたり、請負契約書及び設計図書や現場条件等を検討し、どのように目的物を完成させるかについて示すものである。
2. 安全管理は、第三者や作業員の安全を確保するために行うものである。
3. 環境管理は、工事による騒音や振動、水質汚濁など環境に与える影響を最小限にするものである。
4. 品質管理は、請負契約と施工計画から材料費、労務費、現場経費などの工事に関わる原価を算出し、実行予算通りに実施できるようにするものである。

問題 1 1 作業方法の改善に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 作業方法の改善は、事故・労働災害、工事の不具合等を防止するとともに、作業結果は良質で、作業効率は向上させ、作業員のコスト意識を高めることが目的である。
2. 作業方法の改善の進め方は、現状に疑問を持つことから始まる。
3. 材料や器具・設備、動作や手順など問題点をつかむ観点を持って作業方法の改善に努める。
4. 作業方法の改善では、5W1Hによる問題検討方法や4段階による作業方法の改善の進め方等で問題の検討を行う。

問題 1 2 見積原価の管理に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 見積りでは、諸条件の読み落とし、数量の過小積算等の不備があれば、利益を出せない。
2. 見積りでは、発注者と施工条件の確認等の質疑を十分行った上で提出することが大切である。
3. 現場条件、工程、数量、リスク等の確認や施工範囲の明確化は重要であるが、設計図書や施工図は確認しなくともよい。
4. 材料は支給か、取り合い部の施工はどの業者の責任か、どんな書類の提出があるか等、原価に直結するので、施工範囲を明確化には注意が必要となる。

問題 1 3 専門工事業者の予算実績管理に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 建設業界においては、技能労働者の社会保険加入率が低いことが大きな問題となり、技能労働者の処遇改善のため、それぞれの建設会社が社会保険の未加入対策を進めている。
2. 国土交通省では、各専門工事業団体に対して、法定福利費の内訳を明示した見積書の作成を働きかけている。
3. 国土交通省は、「元請負人及び下請負人は見積時から法定福利費を必要経費として適正に確保することが必要」であるとして、不当に低い請負代金にならないように指導している。
4. 見積書で内訳明示が求められている法定福利費の対象は、健康保険料、厚生年金保険料、雇用保険料のうち技能労働者の事業主負担分である。

問題 1 4 高い品質に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 多くの専門工事業者が分担して施工する建物の品質は、「品質は工程でつくり込む」という考えが重要であるが、それ以上に、検査で合否を判定することがより重要である。
2. 最終的な品質の高さは、品質の高い工程を積み上げることで実現する。
3. 発注者をはじめ、建設コンサルタント、設計・監理者、総合工事業者、専門工事業者、材料供給業者間で品質の考え方の共有が必要である。
4. 品質という用語は、ISO 規格によると「本来持っている特性の集まりが、要求条件を満たす程度」という定義に改められている

問題 1 5 品質管理QC (Quality Control) に関して、**最も不適当なもの**はどれか。

1. 部材の強度・寸法等のばらつきをコントロールし、顧客や社会の要求条件を満たす品質をつくり出すことが品質管理である。
2. 品質管理とは、「経済性を無視して、買い手の要求に合った品質の物又はサービスを作り出す」と定義されている。
3. 顧客の要求条件を満たす品質を「経済的につくり出す」ためのカギは、品質のばらつきがランダムに発生する（一様分布）のではなく、ベル型（正規分布）にしたがう特性に着目することである。
4. 建設現場において統計的・客観的・分析的な視点からQC 7つ道具を活用して、効率的にQC活動を行うことができる。

問題 1 6 建設業法に関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設工事の請負契約の当事者は、各々対等な立場における合意に基いて公正な契約を締結し、信義に従って誠実にこれを履行しなければならない。
2. 建設工事の契約の締結に際して工事内容や請負代金の額などを書面に記載し、署名又は記名押印して相互に交付しなければならない。
3. 注文者は自己の取引上の地位を利用して、その注文した建設工事を施工するために通常必要と認められる原価に満たない金額を請負代金の額とする請負契約を締結してはならない。
4. 注文者は、その注文した建設工事を施工するために通常必要と認められる期間に比して著しく短い期間を工期とする請負契約としてはならないが、工期に影響を及ぼす事象に関してはその情報を提供する必要はない。

問題 1 7 建設業法令遵守ガイドラインに関して、最も不適当なものはどれか。

1. 建設業の担い手を確保するために、処遇改善等を通じて建設業への若年層の入職を促進することが必要であり、政府一体となって元請下請間の取引適正化に取り組んでいる。
2. 赤伝処理等による一方的な代金の差し引き等、下請負人へのしわ寄せによって技能労働者への適正な賃金水準が確保できなくなるなど、建設業が持続的な発展を遂げる上で阻害要因となっている。
3. 「建設業法令遵守ガイドライン」は、元請下請間の関係に関して、どのような行為が建設業法に違反するかを具体的に示しているが、法律については元請・下請がそれぞれ十分理解することでしか解決できない。
4. 「建設業法令遵守ガイドライン」は、元請負人と下請負人との対等な関係の構築及び公正かつ透明な取引の実現を図ることを目的としている。

問題 1 8 左官の用語の定義について、最も不適当なものはどれか。

1. 「あま」とは仕上げ塗り材を塗り付けた際に、壁面に混合液のみが偏って現れることを指す。
2. 浮きとは、塗付け下地面と塗り付けた塗り材の間に空間が出来ている状態をいい、軽くたたくと軽い音がすぐに返ってくる。
3. 追かけ塗り（おっかけぬり）とは、同一塗り層を2工程で塗る場合に、水引き具合を見て塗り重ねていく塗り方のことを指す。
4. 骨材とは、セメントモルタル等を構成する砂、砂利などの総称である。粒径の大きさによって細骨材、粗骨材に区別されているが、質量によっては区別されない。

問題 1 9 墨出しについて、最も不適当なものはどれか。

1. 陸墨・心墨・逃げ墨は、一般的に左官作業を行う前に打っており、つけ代墨は左官が墨出しをする。
2. 陸墨は基準墨で、天井、床、梁等の高さを求めるための基準となる墨であり、床仕上げ面より 1m内外の高さの壁面に打つ墨である。
3. つけ代墨とは、逃げ墨より仕上げの基点を換算して打つ墨である。
4. 地墨とは、仕上げ墨の墨出しができない場合に、基準墨からある寸法だけ逆算して逃げて墨打ちをした墨である。

問題 2 0 左官材料について、最も不適当なものはどれか。

1. セメントは、ポルトランドセメントの他に、高炉セメント、シリカセメント、フライアッシュセメントなどの混合セメントがある。
2. 早強セメント類は、早期強度が大きいので、左官工事に適する材料であり、特に夏期の施工において使用することが多い。
3. 半水せっこうを主原料としたせっこうプラスターの特徴は硬化に伴って膨張することである。
4. せっこうは火には強いが、水に弱い性質である。

問題 2 1 左官下地について、最も不適当なものはどれか。

1. セラミックブロック下地は、一般的に吸水率が小さいので、セメントモルタルのドライアウトが発生しにくい。
2. ALC パネル下地は、工場でオートクレイプした超軽量コンクリートパネルである。
3. 石膏ボードのスクエアエッジは、ジョイント処理がボード表面にジョイントテープを貼るしか出来ず、強度が弱く塗り壁下地に適さない。
4. セメント系ボード板は、骨材入りポルトランドセメントを芯材とし、その表裏両面に耐アルカリ性ガラス繊維ネットを埋め込んで補強したもので、デラクリートが知られている。

問題 2 2 ラス系下地の二層下地通気構法について**最も不適当**なものはどれか。

1. 平ラスは木造外装用として不適格であるが、ひび割れ防止の補強材としては部分的に使用する。
2. 防水紙に使用するアスファルトフェルトは 430 又は同等の性能を有するものとし、継目を縦、横とも 50mm 以上重ね合わせる。
3. ラス系下地の二層下地通気構法とは、通気胴縁の屋外側にラス下地板や面材を留め付け、その上に波型ラスをステープルで留め付ける仕様である。
4. 波型ラスを留め付けるステープルは、足の長さ 19mm の 1019J 程度のものを使用する。

問題 2 3 法律・書籍に関するものとして**最も不適当**なものはどれか。

1. 「公共建築工事標準仕様書」の内容は、一般事項や仮設等の共通工事、施工方法、検査・試験方法など、公共建築工事の共通的事項および工法・検査等について標準的な仕様を取りまとめている。
2. 「建築工事標準仕様書・同解説」は日本建築学会が発行しており、通称「JIS」(ジス)ともいう。適切な施工標準を作ることを目的として工事の種類ごとに体系づけられ、JIS1 から JIS27 まであり、左官工事は「JIS15」となっている。
3. 「左官施工法 2020」は(一社)日本左官業組合連合会が発行しており、「建築工事標準仕様書・同解説」を基にした内容の副読本として、時代に即応しながら普遍的な基礎技能と知識を習得することに重点を置いている。
4. 「建築基準法」は、建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する最低の基準を定めて、国民の生命、健康及び財産の保護を図り、もつて公共の福祉の増進に資することを目的としている。

問題 2 4 セメントモルタル塗り工法の記述について、**最も不適当**なものはどれか。

1. セメントモルタルは加水と同時に水和反応が始まり、温度によっても凝結時間が変化するので、可使時間は冬期 120 分夏期 60 分を目安とする。
2. セメントモルタルの調合は、下地側に塗られるものほど強度を高くする。
3. セメントモルタル塗りの表面仕上げは、「木鏝仕上げ」「金鏝仕上げ」「刷毛引き仕上げ」が主な基本種類となる。壁面タイル下地(弾性接着剤張り工法)は木鏝仕上げとする。
4. セメントモルタル塗付け後の急激な乾燥により、強度が低く接着力も不十分な塗り層となることは剥離の原因となり、この現象を「ドライアウト」と呼ぶ。

問題 2 5 左官工事に関する記述について、最も不適当なものはどれか。

1. 左官の大きな特徴に、複雑な形状でも自由に形成することができる「可塑性」と、シームレスな仕上げが可能な「展伸性」という性質がある。
2. 左官工事の品質管理項目として、仕上げ面が平坦であることが要求されている。
3. 左官工事の目的として、「断熱や温湿度の調整」「美観の付与」など複数あるが、「防水や漏水防止」は目的には含まれない。
4. 左官仕上げの故障と原因は、様々な要因が複雑に作用し合っている場合が多いため、ひとえに左官技能者の施工不良によるものと判断せず、しっかりと調査と検証を行う。